

アートの街の、アートの大学。

KANAZAWA
COLLEGE OF ART

金沢美術工芸大学

美術科
日本画専攻



日本画専攻1年
崔 由依子さん(金沢錦丘高校出身)

美術科
彫刻専攻



彫刻専攻2年
矩 万穂さん(星稜高校出身)

デザイン科
環境デザイン専攻



環境デザイン専攻2年
中村 光輔さん(金沢西高校出身)

工芸科
漆・木工



工芸科2年
清瀬 鈴さん(県立工業高校出身)

Q. 金沢美大を志望した理由は？

金沢は自然と文化が豊かに共存し、新しさも古さも柔軟に取り込む、懐が深い土地。美しさの中に強さもある「美」に惹かれました。だからこそ、地元・金沢で学びたい、突き詰めていきたいと考えたからです。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

絵に集中させてくれる環境です。全体の構図をはじめ、細かな部分にまで画材や塗りなどの「深み」を追求できます。それもあって、逆に安心して絵以外のことにも興味のアンテナを張って、視野を広げられますね。

Q. 将来の目標は？

卒業前の目標ですが、4年時にはもっと大きな作品を描くことになるはず。その時は、自分が感動した事象や自然を誠実に描きあげたい—見た人が純粋に驚きと感動を得られるような絵を。その力がある絵を描くことが目標です。

Q. 金沢美大を志望した理由は？

家が学校から近く、画材や作品など大荷物を持ち歩く美大生をよく見てきました。その姿がかっこよくて！ 親戚の彫刻家の作品にふれて、さらに憧れが加速して……ここなら大きな作品を存分に作れると確信したんです。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

とても自由です。自分の好きなものが作れる自由さが幸せと同時に、怖くありません。石を掘る、木を張る、金属を溶接するなど、あまり身近にない技法で作品を作る特別感が魅力です。先生も学生も仲が良いんですよ。

Q. 将来の目標は？

大きな夢を言えば「石川県出身の彫刻家といえど」との質問に名前が挙げられるほどの巨匠に！でも、まずは自分の思い、自然を見て感じたことを「石」でどう表現できるかを突き詰めていきたいですね。

Q. 金沢美大を志望した理由は？

昔から絵を描くのが好きで、かっこいい美術背景も好きでした。美大進学のために通っていた画塾の先生から「金沢美大ならディスプレイもランドスケープも建築もあって、幅広く技術が学べる」と聞き、志望しました。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

少人数制の授業なので、建築からデザイン、専門的な部分までマンツーマンで教えてもらえるのがいいですね。悩みや問題があった時は、根気よく丁寧に教えてくださるので、着実に身に付いていることが実感できます。

Q. 将来の目標は？

地元の製品を使って、お店を魅力的にデザイン&アピールする提案もしたいし、椅子や照明などの小物のデザイン&製作もしたいです。将来的には、ビルやドーム、スタジアムなど大きなスケールの建築を手がけたいです。

Q. 金沢美大を志望した理由は？

祖父も父も蒔絵師だったこともあり、私にとって漆は身近な存在。幼い頃から「跡を継ぎたい」と考えてきました。伝統文化が根付く地域にある金沢美大なら、自分が求める技術や視点が習得できると思い、志望しました。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

2年次にマイ作業机が用意されるなど、ものづくりの設備、環境が整っています。ふつうなら気付かない視点や実技に基づく確かな知識を学べますし、学生の作品もハイレベルなので、自分もがんばらうとやる気も出ますね。

Q. 将来の目標は？

父の作品の良い所を取り入れるのはもちろん、世界に通用するようなスタイルを追求したい。そのためには「ものを見る力」を付けて、描写をどんどん広げないといけないので、視野を広げる意識も持ち続けていきたいです。

金沢美術工芸大学

石川県金沢市小立野5-11-1

TEL: 076-262-3531

MAIL: admin@kanazawa-bidai.ac.jp

金沢美大



美と地の創造を通して、地域に根差し、世界に発信する大学

金沢美術工芸大学は、これまで美術、デザイン、工芸、芸術学の分野において国内外で活躍する数多くの有為な人材を排出し、我が国の芸術文化の創造とユネスコ創造都市金沢の発展に重要な一翼を担ってきました。今後、地域に根差し世界に開かれた大学として、未来社会を拓く個性豊かなクリエイターを育成する教育を実践し、国際的に展開する研究を推進します。

新キャンパスへの移転

金沢美術工芸大学は、令和5年度中に新キャンパスへ移転予定です。

もっと知りたい！ 学科図鑑

美術科 日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術部分で活躍し、貢献する人材の育成をめざしています。

デザイン科 視覚デザイン専攻、製品デザイン専攻、環境デザイン専攻

デザイン科は、それぞれの専門分野における教育をより高度なものとしつつ、3つの専門にこだわって連携した教育を行っています。グローバル化、多様化の進む現代の会社において、デザインの世界を広く眺めながら、優れた専門性を発揮できる人材の育成をめざしています。

工芸科 陶磁、漆・木工、金工、染織

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。2年次以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかの領域を選択し、各々の素材に関する多様な技術の習得、現代の社会的ニーズに適應した、より高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成をめざしています。